

# 道路冠水時安全対策のとりまとめ

道路冠水に対する安全対策は、排水施設の改良などのハード面の整備が必要不可欠ではあるが、道路管理者が道路冠水時の安全対策として、道路パトロールや交通規制などのソフト面での対策を適切に実施するとともに、市民に対して、どのような箇所に危険が潜むのか認識してもらうための注意喚起や道路利用者自らが身を守るために必要な情報提供を絶えず行っていくこと（自助を促す注意喚起）が重要であり、次の安全対策を進めていく。

## 注意すべき箇所の分類

## 安全対策の方法

：道路が冠水した履歴があり危ない箇所

：安全対策を行うとともに、冠水時の行動規範について周知を行う

：浸水(内水)ハザードマップ等のシミュレーションの結果、冠水の可能性がある箇所(想定される箇所)

：注意箇所及び冠水時の行動規範について周知を行う

：、以外で冠水が発生した箇所(想定していない箇所)

：冠水時の行動規範について周知を行う

## 安全対策の内容

分類

道路管理者が実施する  
ソフト面での安全対策

災害時活動マニュアルの改訂及びマニュアルに基づく活動の実施

{ 注意箇所のパトロール  
通行止め等の通行規制  
注意看板の設置 など }

分類

道路冠水注意箇所の周知・  
道路冠水時の行動規範の周知

紙や電子の情報媒体等を利用した広報活動の実施

事前の広報活動

豪雨時の広報活動

{ ・ ホームページ  
・ 広報さがみはら  
・ 防災ガイドブック  
・ 内水ハザードマップ }

{ ・ 防災無線(ひばり放送)  
・ メールマガジン、ツイッター  
・ ホームページ }

分類